

展示場 4 階アンケート調査 —博物館実習報告①—

倉本 麻衣, 中尾 慎吾, 松村 佐智子, 御倉 梨紗*

概要

平成 23 年度博物館実習において、展示場 4 次改装(4 階)に向けての基礎データを集める為、対面聞き取りによるアンケート調査を行った。来館者が現在の展示場をどのように感じているのを4つのコーナーに分けてまとめ、4 次改装のプランを立てる際の参考資料とした。

1. はじめに

1-1. 目的

大阪市立科学館では展示場 4 次改装を計画している。そこで、実習生による対面聞き取りにより来館者が現在の展示場をどのように感じているのか、興味関心の傾向を知り、改装のプラン及び日常の展示・解説文の改良、サイエンスガイドの説明のための参考資料とすることを目的とした。

1-2. 調査方法

今回の調査場所は4階で、以下の4コーナーに分けて、それぞれのコーナー周辺で博物館実習生による対面聞き取りを実施した。

- ①宇宙(宇宙は今、宇宙をつくっているもの)
- ②サイエンスギャラリー(宇宙をさぐる、大阪の科学史)
- ③力学(古代～中世の科学、15～17世紀の科学)
- ④電気・磁気(18～19世紀の科学、20世紀初頭の科学)

同時に、回答者について年齢、出身地、同伴者、来館目的についての調査も行った。

時期は夏休み中の平日の午前、及び休日の午後の2回にわけて実施したが、あまり差が見られなかったため、まとめて考察を行った。

2. 宇宙コーナーの調査結果(松村)

2-1. コーナーの印象

	大人	子ども
おもしろかった	9	2
勉強になった	4	0
触れるのが良い	2	0
興味を持てた	1	1
難しかった	3	2
未回答	4	9
合計	23	14

大人の少数意見として、「興味を持てた」「細かくて丁寧」「展示物が古い」などあり、様々であった。子どもは難しいとおもしろいという回答であった。

2-2. 特に印象に残った展示

	大人	子ども	合計
隕石	5	5	10
3次元の星	6	3	9
星の大きさ比較	6	0	6
原子体重計	3	2	5
元素	3	2	5
はやぶさ	2	0	3

見たり触ったりできる展示物の人気が高いことがわかる。

2-3. 解説文について

	大人	子ども
よく分かった	1	0
だいたい分かった	3	0
普通	4	1
難しかった	12	7
読まなかった	3	6
合計	23	14

大人と子どもどちらも「難しかった」という回答が一番多く、子どもに関しては「読まなかった」という回答が次に多かった。子どもにとって解説文は文字が多く難しいため読む気がしないように伺える。

*平成23年度博物館実習生

2-4. コーナーの難易度

	大人	子ども	子どもに 対して
とても難しい	1	0	0
難しい	5	9	4
普通	8	1	3
易しい	3	0	2
とても易しい	0	0	0
未回答	6	4	14
合計	23	14	23

大人と子ども共に「普通」～「難しい」と感じた人が多い。

2-5. 傾向及び改善案

宇宙のコーナーは解説が子どもには難しく、読んでいないという意見も多かった反面、隕石の展示や原子体重計、惑星の大きさの比較など、見たり触ったりできる展示の人气が高かったことから、目で見て理解できるような展示や直接触れる展示を増やし、解説文も子ども用に簡単なものにするとう良いと思う。解説文を簡単なものにする事で、子どものペースに合わせて展示を見るため解説をじっくり読む暇がない大人や、子どもに説明を求められた親にも都合がよい。また、より詳しく知りたい大人用の2通りがあって良いと思う。

3. サイエンスギャラリーコーナーの調査結果(倉本)

3-1. コーナーの印象

	大人	子ども
おもしろかった	8	11
勉強になった	4	1
わかりやすかった	3	1
興味があるものは楽しい	2	0
すごい	0	2
難しい	4	4
未回答	5	0
合計	26	19

「おもしろい」と回答した人のほとんどは、「銀河のかんづめ」「銀河系をくぐろう」しか見ていない人が多かった。銀河について興味のない人にとってはおもしろさが伝わりにくかったと考えられる。

3-2. 特に印象に残った展示

	大人	子ども	合計
銀河のかんづめ	5	4	9
銀河をくぐろう	2	0	2
湯川先生	1	1	2
銀河を探そう	1	1	2

大人と子ども共に「銀河のかんづめ」と回答した人が過半数以上であったが、その中には何かわからないまま見ている人もいた。体験できるものが少なく、子どもにとっては興味を持ちにくい。

3-3. 解説文について

	大人	子ども
よく分かった	4	0
だいたい分かった	13	3
普通	1	0
難しかった	7	5
読まなかった	1	9
未回答	0	2
合計	26	19

大人は解説文を読んで理解できる人と難しいと思う人がおり、子どもは読まなかったという意見が一番多かった。

3-4. コーナーの難易度

	大人	子ども	子どもに 対して
とても難しい	1	2	0
難しい	11	9	9
普通	4	1	1
易しい	8	2	3
とても易しい	1	0	0
未回答	1	5	13
合計	26	19	26

全体的に内容が難しく、さらに興味を持ちづらい分野なので、難しいという意見が圧倒的に多かった。

3-5. 傾向及び改善案

サイエンスギャラリーのコーナーの展示内容は、大人子ども共に難しく、体験型の展示を期待する声が多かった。また、解説文に関しても難しく文章が多いため読まない人が多かった。これらのことから、解説文を分かりやすく改善することや、体験型の展示物を増やすことで少しでも多くの人に銀河に興味を持ってもらうことができると思う。

さらに、サイエンスギャラリーと宇宙のコーナーは境目が分かりにくいので一緒にまとめても良いと思う。

4. 力学コーナーの調査結果(御倉)

4-1. コーナーの印象

	大人	子ども
おもしろい	20	12
体験できてよかった	4	0
良く分かった	2	0
子供が楽しい	2	4
大人も楽しい	1	0
難しい	0	3
未回答	1	0
合計	30	19

体験できる展示物が多いため、「おもしろい」という回答が一番多かったが、毎回同じで代わり映えがないという意見もあった。また、遊園地感覚で楽しいといった子どもの意見も多かった。

4-2. 特に印象に残った展示

	大人	子ども	合計
回転台	2	6	8
力比べ	2	2	4
体重	2	1	3
滑車	3	0	3

人気のある展示物もあったが、人によって様々であった。

4-3. 解説文について

	大人	子ども
よく分かった	12	2
だいたいわかった	2	3
普通	2	2
難しかった	5	2
読まなかった	9	10
合計	30	19

大人は解説文を読めば理解できるという回答が多数であり、子どもは解説を読まなくても楽しめるので読まないという回答が一番多かった。

4-4. コーナーの難易度

	大人	子ども	子どもに対して
とても難しい	0	0	1
難しい	4	8	10
普通	3	0	2
易しい	11	6	8
とても易しい	3	1	0
未回答	9	4	9
合計	30	19	30

「難しい」と回答した人のほとんどが、原理を理解するのは難しいという意見が多かった。また、「易しい」と答えた人は、理解できていなくても体験できて楽しいという意見が多かった。

4-5. 傾向及び改善案

力学のコーナーは 4 階の中でも体験できる展示物がほとんどであり、簡単に科学に接することができるので人気のコーナーであった。簡単に体験することができる反面、内容を理解せずに体験している子どもが多かった。

この改善案として、実際これらの力学が我々の生活においてどの部分で利用されているかなどをもう少しわかりやすく示すことで、ただ楽しむ場ではなく学びの場になると思う。

5. 電気・磁気コーナーの調査結果(中尾)

5-1. コーナーの印象

	大人	子ども
おもしろい	14	17
普通	1	0
勉強になった	1	0
よく分からなかった	1	0
未回答	7	1
合計	24	18

具体的な印象として、体験できる展示や実際に触れられるという回答が目立った。

5-2. 特に印象に残った展示

	大人	子ども	合計
アーク放電	1	2	3
磁石をつかった体験	2	1	3
かみなりの赤ちゃん	0	3	3
電流が人を通る	1	1	2
静電気	1	1	2
月の満ち欠け	2	0	2
発明品、道具	2	0	2

解説を読むだけではなく、体で感じ体験できるような展示物を来館者が楽しいと感じているのだと考えられる。文字だけの解説・展示であれば学校でも習うことができるため、科学館では実際に触れることができるものが求められているように感じた。

また、磁気に比べて電気の展示が多いのは、電気では放電など目で見えるものが多く、はなやかであるため印象に残りやすいからと考えられる。

5-3. 解説文について

	大人	子ども
よく分かった	3	0
だいたい分かった	2	3
普通	3	2
難しかった	10	5
読まなかった	3	7
未回答	3	2
合計	24	18

大人と子どもで意見がわかれた。大人で一番多い回答は「難しかった」、子どもでは「読まなかった」であった。一方で大人も子どもも分かったと回答している人もいた。これは、本質的な部分まで理解しなくてもざっくり分かった人も分かったと回答しているのではないかと見受けられる。特に子どもにおいてはその傾向が強い。

5-4. コーナーの難易度

	大人	子ども	子どもに対して
とても難しい	0	0	0
難しい	3	4	13
普通	4	3	1
易しい	5	1	0
とても易しい	0	0	0
未回答	12	10	10
合計	24	18	24

大人が一番多い回答が易しいのに対し、お子さんに対してどうであるかといった質問ではほとんどの親が難しいと回答している。このことから、大人は子どもには上手く説明できず、自分では浅くしか理解できていないからだと推測できる。

一方、子どもの回答は「難しい」が一番多いのに対し、

少数であるが「普通」や「易しい」があることから、子どもはすべてを理解していなくても直感的に感動するからだと考えられる。このように子どもにおいては、全てを理解することは難易であるが、科学に興味をもつことができれば科学館の役割の一部は果たせたと感じた。

5-5. 傾向及び改善案

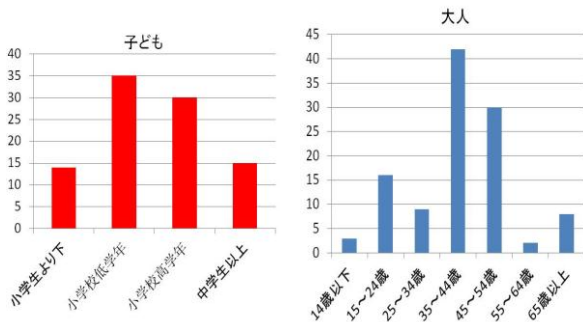
アンケート調査の際、この科学館が子どもにとって学ぶ場であるべきなのに、アトラクションのようにただ楽しむ場になっているのではないかという意見を頂いた。確かにそのように感じた反面、小さい子どもに関してはそれでも良いのではないかと感じた。まずは科学に興味を持ってもらうことが大切であり、それが科学館の使命ではないかと感じた。

6. 回答者について

6-1. 年齢

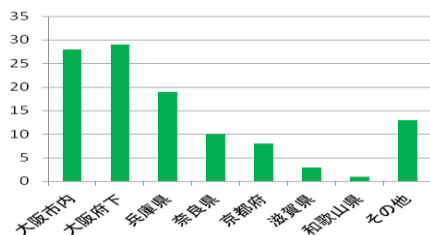
子どもは、小学生の来館者が過半数を超えている。また、大人は35～54歳が多いことから、小学校の子どもがいる家族が夏休みに家族連れで楽しむために来ているからだと考えられる。

小学校高学年以上の子どもは、夏休みの課題のために来ている子が多かった。



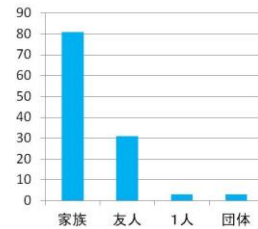
6-2. 出身地

ほとんどが関西からの来館者であり、その中でも大阪から来ている人が過半数を超えている。このことから、大阪市立科学館は地元の来館者により支えられていると考えられる。



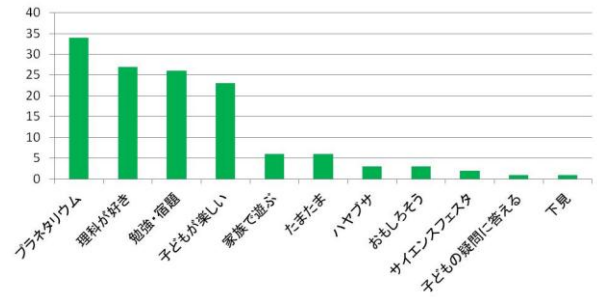
6-3. 同伴者

家族で来ている人が圧倒的に多かった。夏休みであるからと考えられるが、この科学館が子どもと大人共に楽しめる場所であることを示しているように感じる。



6-4. 来館目的

一番多かった目的が、プラネタリウムであり、その次に理科が好き、勉強・宿題のため、子どもが楽しめる場所であるからという理由が多かった。



7. 展示場 4 階全体の改善案

4コーナー全てにおいて、解説文が子どもには難しいという意見が多かった。改善案として、目で見ても理解できるように展示物を増やし、解説文も大人用と子ども用の2通りあるとより良くなると思った。

また、体験型の展示物は楽しいだけで終わってしまいがちになるので、学校の教科書や日常の現象に結び付けて原理を示すことで、より簡易に楽しみながら学ぶことができるのではないかと思います。

さらに、最先端の科学や科学技術の未来を紹介する月替わりの新たなコーナーを作成することにより、何度も訪れる地元の方にも飽きずに楽しんでもらえることが可能になるのではないだろうか。

アンケート調査を行って、プラネタリウムを目的としてくる来館者が多いことに気付いたので、星座やプラネタリウムの構造などプラネタリウムに関する展示を置くことにより一層展示物に興味を持ってもらえるのではないかと感じた。

科学史などの文章は難しいことはなかなか子どもに興味を持ってもらいにくいので、クイズ形式のスタンプラリーのようなものを用いると子どもにも興味を持ってもらえるのではないかと考える。

8. 補足

今回の展示場 4 階の改善案は、あくまでもアンケートに基づいて考えられた実習生の案であり、改善に伴う費用などはまったく考慮していないため、第三者からの1つの意見として参考にしていただきたい。